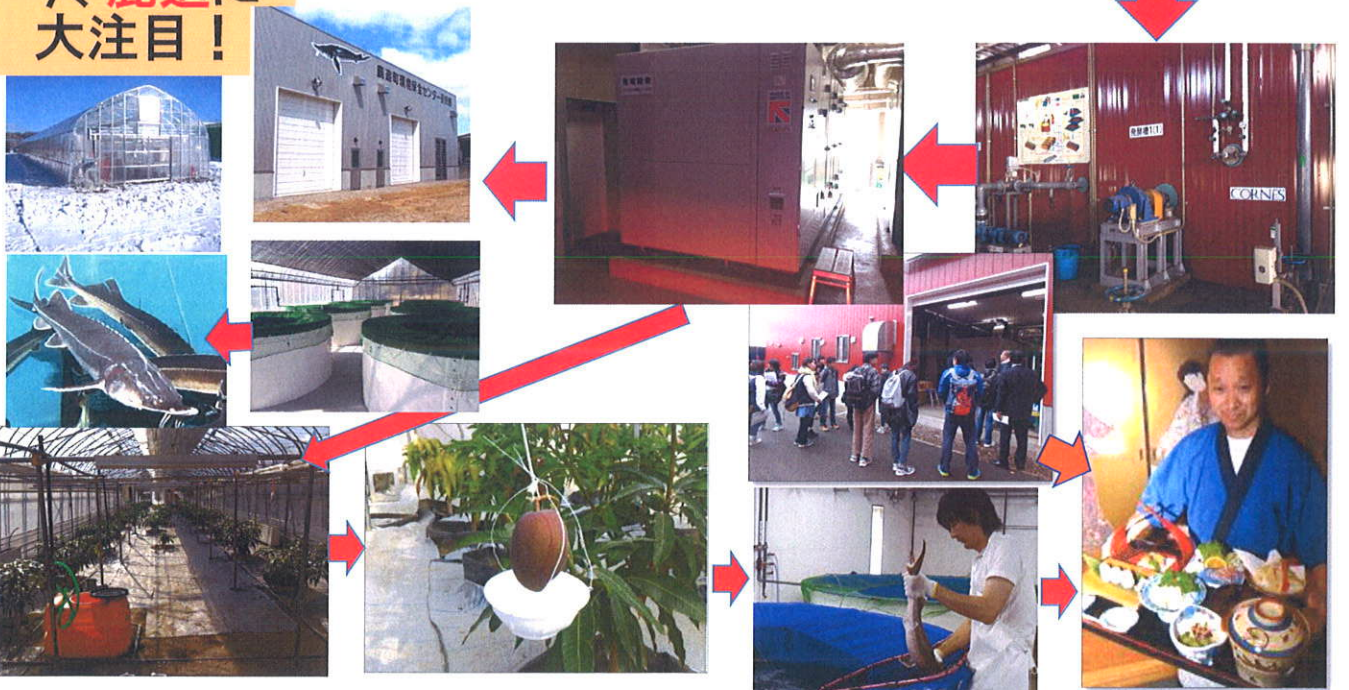


# 北海道の鹿追町では

捨てるのも困るようなものから、色々なものが...



牛のウンチ  
から  
一石  
四鳥五鳥  
今、鹿追に  
大注目！





地域の  
廃棄物を

これ、なんです！

地産のエネルギーにして、地域の諸課題を解決

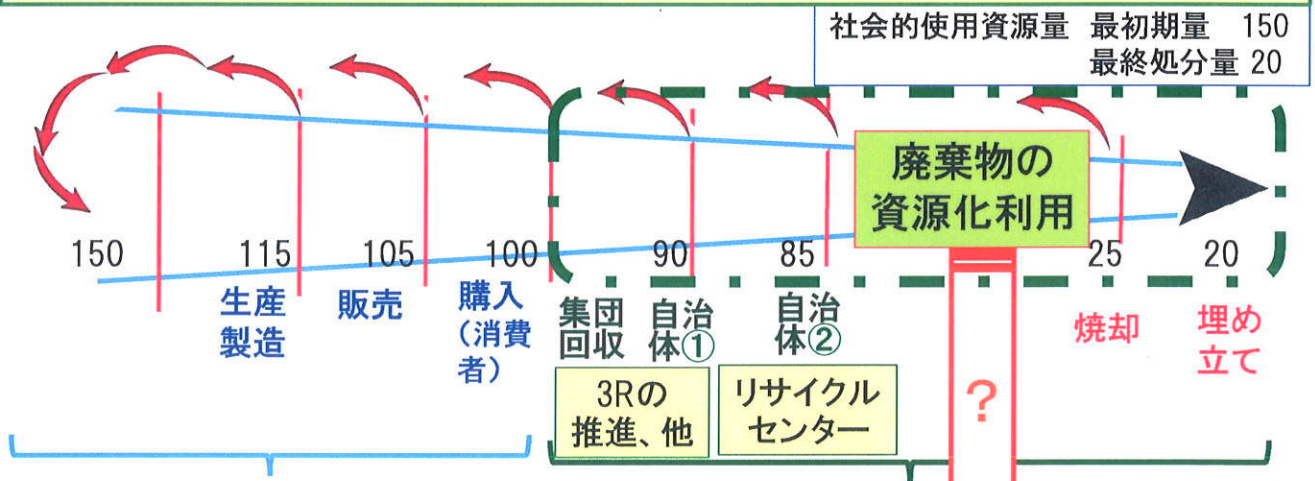


年利益  
8億2000万円！  
逆有償を  
膨大な付加価値に

CO<sub>2</sub>削減効果 4,350 t-CO<sub>2</sub>/年

削経済効果 収支として 822,550 千円/年

廃棄物の減量、再生、資源化利用のイメージ図



経済活動に関わる3R行動

集団回収や税を使っておこなった廃棄物行動

- すると…
- ・地域(西脇・多可)の経済発展に
  - ・地域のエネルギー基盤の整備に
  - ・地域の温室効果ガス削減に
  - ・地域の防災・安全安心に
  - ・地域の環境保全・生態系の維持に
  - ・地域の新産業の育成に
  - ・地域の若者など雇用の増進に
- 100-20 = 資源化率80%

地域の持続可能性が確保

## まとめ 「廃棄物の終了」という新しい地域システム

■ 10年後、20年後、30年後…地域に、どんな社会が訪れているのでしょうか？

■ 「廃棄物の終了」という将来が、地域社会で、価値ある資源が有効に循環していく循環型社会形成で、より環境負荷や住民負担が少なく、良好な自然環境(生物多様性・自然生態系サービス)の下、地域社会が活発かつ安心安全で、幸せ感を多く感じることもできる、持続可能なまちづくりにつながるものが肝要。

■ 廃棄物(ごみ)は、人間活動の及ぶ自然環境でも発生していることに鑑み、人間社会の廃棄物と人間が関わりをもった自然界の廃棄物(例:野や山の)とを、その性質等をもって有機的に統合(混合)し、無駄のない(設備過剰にならない)投資をもって、地域社会の自然資本を拓いていくことが重要である。

■ その第一歩が、我々(西脇・多可の)に期待されている「一般廃棄物処理基本計画」の策定であるとの共通認識から、気概を持って始めましょう。